

令和 6 年 1 2 月

第 1 2 回和光市教育委員会定例会会議録

和光市教育委員会

令和6年第12回和光市教育委員会定例会日程

令和6年12月26日（木曜日）午後1時30分開会

日程第1 会議録署名委員の指名について

日程第2 教育長の報告

日程第3 付議案件

（1）議案第23号 和光市教育委員会表彰規程に基づく表彰について

日程第4 協議・報告事項

（1）和光市議会12月定例会の一般質問について

（2）埼玉県学力・学習状況調査結果概要について

（3）令和6年度和光市立小・中学校卒業証書授与式教育委員会告辞（案）
について

（4）和光市教育委員と保護者・地域の方・教職員等との懇談会（案）につ
いて

日程第5 その他（教育委員諸報告・委員質問・事務局報告など）

出席委員（５名）

教育長	石 川 毅
教育長職務代理者	山 田 実
委 員	村 中 秀 人
委 員	牧 江利子
委 員	天 内 綾

欠席委員（なし）

議事参与者

教育委員会事務局教育部長	横 山 英 子
〃 次長兼教育総務課長	福 田 裕 子
〃 次長兼学校教育課長	辻 英 一
〃 生涯学習課長補佐	山 本 龍
〃 スポーツ青少年課長	森 谷 聡 子

傍聴人（１名）

開会 午後 1時28分

○石川教育長 皆さん、こんにちは。

今年もあと僅かになりましたけれども、市内の小・中学校では、おととい、24日に2学期の終業式を行いまして、昨日から1月7日までの14日間、冬季休業期間となります。この冬季休業期間ですが、先日の北九州市での中学生の刺殺というような痛ましい事件や、先月も市内のコンビニエンスストアでも強盗事件が発生しておりますので、子供たちへの注意喚起につきましては、交通事故防止と併せて、各学校から行ってもらいました。子供たちには年明け1月8日に元気に充実した表情で登校してきてほしいなと願っているところです。

それでは、今年最後の定例会になりますが、どうぞよろしくお願いいたします。

では、次第に従って進行してまいります。

◎会議録署名委員の指名について

○石川教育長 日程第1、会議録署名委員につきましては、村中委員にお願いいたします。よろしくお願いいたします。

◎教育長の報告

○石川教育長 日程第2、教育長の報告。

資料1を御覧ください。

1 日日曜日、第29回和光市スポーツ少年団本部スポーツ大会が、和光スポーツアイランドで開催されましたので、これを見学いたしました。

2 日月曜日、定例校長会を開催いたしました。

3 日火曜日、インフォメーションシェアリングに出席をし、午後は自動運転バスに試乗いたしました。

4 日水曜日、和光市議会が開会し、議案に対する質疑が行われました。

6 日金曜日、朝霞4市の小学校体育の授業研究会が下新倉小学校で行われましたので、その様子を視察いたしました。

8 日日曜日、第56回青少年育成和光市民会議たこあげ大会に出席をいたしました。初めて樹林公園で行ったたこあげ大会ですけれども、子供たちは元気よく芝生広場を走り、

たこを揚げておりました。

9日月曜日、教育委員会表彰審査委員会を開催し、今年度の表彰者についての審査を行いました。

10日火曜日、和光市議会一般質問1日目。

11日水曜日、一般質問2日目。

12日木曜日、一般質問3日目、またこの日、定例教頭会議を開催いたしました。

14日土曜日、青少年健全育成作文発表会をサンアゼリア小ホールで行い、市内小・中・高校生、各学校代表による作文発表と、102名の入選者の表彰式を行いました。

17日火曜日、一般質問、4日目。

18日水曜日、インフォメーションシェアリングに出席をし、その後、第二中学校の市長訪問に同行いたしました。

19日木曜日、市議会で討論、採決の後、閉会となりました。その後、教育行政について、市長との協議を行いました。

20日金曜日、第3回社会教育委員会議に出席をいたしました。

24日火曜日、臨時政策会議に出席をいたしました。

25日水曜日、アーバンアクア公園の新たな副施設長が来庁されましたので、挨拶をいたしました。

26日木曜日、本日ですけれども、教育委員会定例会を開催しております。

教育長の報告は以上になります。

◎付議案件

○石川教育長 続いて、日程第3、付議案件。

本日の付議案件は1件になります。

議案第23号 和光市教育委員会表彰規程に基づく表彰について。

それでは、説明をお願いします。

○福田次長 それでは、御説明申し上げます。

お手元に配布しております資料2を御覧ください。

こちらは、和光市教育委員会表彰規程に基づいて、学校教育分野や社会教育分野で功績のあった方を表彰するものです。

具体的な表彰規程の基準としましては、2ページめくっていただいて表彰規程と、そ

の次のページの表彰選考基準（内規）で、各団体から担当に御推薦いただいた方となります。

では、2ページ戻ってください。

令和6年度の表彰被表彰候補者一覧のとおり、本年度は個人の方5名と1団体を推薦いたします。

それでは、推薦した担当課から、候補者一覧の順に、候補者のお名前、推薦内容の紹介を1から5番を生涯学習課、6番をスポーツ青少年課でお願いいたします。

○山本課長補佐 それでは、生涯学習課からになります。

生涯学習課からは5名の方が候補者として推薦されております。

初めに1番、和光市婦人会からの御推薦で深井つや子様です。深井様は、協和会婦人会支部長、婦人会監査として婦人会活動に御尽力されるとともに、市の行事や地域行事などの参加にも御尽力をいただいております。

続きまして、2番、3番、4番になります。こちらは市指定無形民俗文化財である下新倉ささら獅子舞保存会からの御推薦です。1人目は布山純子様です。布山様は、長年にわたりましてささら獅子舞の保存に御尽力いただいております、特に笛では常に技術研さんに励み、その保存のための指導者として後継者育成に力を注いでいただいております。お2人目の金子久子様です。金子様も同様に笛の技術研さんと保存のための指導者として後継者育成に御尽力をいただいております。3人目の和田正美様です。和田様も同様に笛の技術研さんと保存のための指導者として後継者育成に御尽力をいただいております。

続きまして、5番になります。図書館から推薦、朗読の会あめんぼになります。朗読の会あめんぼは、平成21年度から図書館において年2回、高校生以上の大人向けに文学作品の朗読会を開催していただいております、読書の推進に御尽力をいただいております。

生涯学習課からは以上となります。

○森谷課長 スポーツ青少年課からは、6番目の和光市スポーツ協会からの推薦で中根敏博様、こちらはスポーツ協会の幹事を10年8か月、務められております。スポーツの普及、活動の活性化に尽力していただいている方になります。

以上です。

○石川教育長 ありがとうございました。

それでは、ただいまの説明につきまして、御質問、御意見がございましたら、よろし

くお願いいたします。

○天内委員 今回のささら獅子舞の保存会さんのほうで3名、御推薦いただいています、この笛に限らず、ほかの楽器に対しては、これまで表彰されてきたものでしょうか。

○山本課長補佐 昨年度は舞の方を表彰しており、毎年、会からいろいろの分野の方が推薦されております。

○天内委員 ありがとうございます。

○石川教育長 ほかにいかがでしょうか。

(発言する者なし)

○石川教育長 よろしいですか。

それでは、質疑を終了させていただきます。

採決します。議案第23号 和光市教育委員会表彰規程に基づく表彰について、原案のとおり決することに御異議ございませんか。

(「異議なし」の声あり)

○石川教育長 異議なしの声がありましたので、異議なしと認め、議案第23号 和光市教育委員会表彰規程に基づく表彰については、原案のとおり承認されました。付議案件は以上になります。

◎協議・報告事項

○石川教育長 続いて、日程第4、本日の協議・報告事項は4件になります。

初めに、(1) 和光市議会12月定例会の一般質問について、説明をお願いします。

○横山部長 和光市議会12月定例会は、11月28日から12月19日まで開催されました。教育委員会に関連するものは、中央公民館雨漏改修工事変更契約の締結、及び補正予算、第五小学校ですとか南公民館の空調機の更新についてなどをのせております。いずれもお認めいただきまして可決となっております。

それでは、教育委員会に関連する一般質問の答弁概要を報告いたします。

資料3を御覧いただけますでしょうか。

まず、第1日目ですが、齋藤議員からのケアラーの現状については、令和3年度以降、各学校において教職員研修を行うとともに実態把握に努めていること、教育委員会では、各学校からの情報を基に必要な応じて関係部署、家庭と連絡を取りながら状況等を確認していることをお答えしております。

次に、赤松議員からは、校長、教頭、教育委員会委員の女性比率、そして小・中学校体育館の空調の電力使用量UP対策について御質問がありました。

まず、女性比率につきましては、校長、教頭の割合は、平成27年度と令和6年度を比較しまして、小学校は12.5%から27.8%へ、中学校は14.3%から28.6%と増加したことをお答えし、総務部長からは、教育委員会委員の女性比率は、委員4名のうち2名が女性であることをお答えしております。

次に、体育館の空調につきましては、以前、教育委員さんには現地を御覧いただいておりますが、今年度、空調を設置しました大和中学校体育館には、屋根と窓ガラスに遮熱対策を講じていること。また太陽光発電パネルの設置の予定につきましては、今後、校舎の建て替えですとか大規模改修のタイミングで検討することを答弁しております。

さらに、照明のLED化につきましては、体育館については令和7年度、8年度に、体育館の空調機設置を予定しているところは、併せてLEDの取付けを検討していること。そのほか教室も含め、令和9年度までに順次更新していくことを計画している旨を答弁しております。

次に、第2日目の待鳥議員からは、子どもの権利条約の教育現場における実践についての御質問です。

教育現場での学校運営や校則見直し等における児童・生徒の主体的な参画の取組として、小学校において、学校運営協議会が実施する熟議へ児童が参加したり、中学校では生徒が校則の見直しや学校行事におけるルールづくりなどに取り組んだりしていることをお答えしております。

次に、3日目、菅原議員からは、GIGAスクールの進展状況、タブレットの更新、学校改築の見通しについての御質問をいただきました。

授業における学習者用の端末の利用状況や、端末の利用前と比較しまして文字を書く、文章を読むことに顕著な変化はうかがえないということをお答えし、さらに、端末の更新につきましては、GIGAスクール構想の実現、学習者用コンピューターの調達等、ガイドラインに基づく調達を検討していること。調達に当たっては、学校現場や業者と連携し、児童・生徒の不安等に十分配慮しながら進めたい旨をお答えしております。

次に、学校改築の見通しにつきましては、学校を建て替えるには、基本構想から実施設計に至るまでの検討、解体、建築工事などを考えると数年を要することから、急ぐ必要があるのではないかという御質問でした。

現時点では建て替え年度が明確になっていないため、具体的に進めることが難しく、第2次和光市公共施設マネジメント実行計画の期間内で取り組むべき事項とされている第三小学校の複合化について、市長部局と連携し、検討を行う旨をお答えしてあります。

また一方で、建て替え時期がまだ先となっている学校であっても、建物の健全性を保つために、外壁の修繕なども同時に進めていく必要があるとも答弁しております。

同じく3日目、吉田活世議員からは、公民館の空調設備、備品の管理についてですが、現在、南公民館は空調機の不具合により暖房が入らない状況です。12月の補正予算で空調機更新の予算は盛り込みましたが、設置されるまでの間の寒さ対策についてや、設備更新の考えについての御質問をいただきました。

寒さ対策につきましては、空調機の不具合があるところの部屋にはハロゲンヒーターを設置したり、ロビーの温かい空気を取り込むように風量を調整し、対応を図る旨を答弁しております。

また、空調機更新については、毎年、点検等を実施し、必要な修繕を把握しておりますが、今回の南公民館のように、点検では異常が見られなくても故障が起きる場合もあるため、設置から年数を経て交換部品がないものについては、専門業者に相談しながら実施計画に計上したいということをお答えしております。

また、3のところの資料には1回目としての質問はございましたが、吉田武司議員から、和光高校閉校後の活用について、2回目以降の質問がありまして、現時点では在校生の心情を考えると、閉校後の活用について表立って検討するのは難しいですが、午王山遺跡もあることから、内部で活用アイデアなどを検討する必要がある旨、お答えしております。

4日目の渡邊議員からは、和光スポーツアイランドの予約の公正性についての御質問をいただきました。

人工芝のサッカーグラウンドは大変人気がありますが、時期によっては優先予約が多く入っておりまして、一般の予約が取りにくい状況であるとの御質問でした。

教育委員会からは、優先予約の対象となる団体や利用料金の取扱い、優先予約を行っている理由をお答えしております。

今後、予約の在り方全般について、他市の事例など情報収集をしていきたいということをお答えしております。

以上が12月定例会の一般質問の答弁の概要になります。

○石川教育長 ありがとうございます。

それでは、ただいまの説明につきまして、御意見、御質問がありましたらお願いいたします。

○石川教育長 はい。お願いします。

○山田委員 3日目の菅原議員からの質問で、学校の改築の見通しのところで、改築には完成するまでに数年かかる大工事になると思うんですけれども、建て替えの年度が決まっていないというお話だったんですが、第三小学校の建て替えの時期というのはいつまでというところは、まだ決まっていないんですか。

○横山部長 そうですね、第2次公共施設マネジメントの実行計画のほうには、第3次の期間中に建て替えに着手するということですので、令和9年度以降ということまでは決まっているんですね。令和8年度以前は建て替えに関して具体的なものは何も決まっていないところです。

○山田委員 令和9年度以降に建て替えるということ。

○横山部長 ということです。期間中ということですので、9、10、11、12、13年の間になるのかなとは思っておりますが、現時点では、そこまでしかちょっと分からないです。

○山田委員 当初の計画では、もっと早かったですよね。それが遅れたということは予算的な理由があるのかと思うんですけれども、遅れることによって、やっぱり、そのほかの学校の改築もどんどん遅れていくわけですよね。

○横山部長 そうですね、ほかの学校の改築も遅れていきます。また、まだ先であっても、外壁とか適切な大規模修繕の着手もなかなかできなかったりという影響はあります。

○山田委員 いつ大きな地震が起こるか分からないという中で、建築基準法でいけば、もうそろそろ限界にきているような、耐震補強はしているとしても、そういう状況の中で、子供たちが一日の大半を過ごす場ですので、いつやるか分からないというような御判断では、ずるずるいっちゃうと思うんですよね。その辺は計画をしっかりと立てて、市として取り組んでいくことだと思います。子供たちが安全に学校生活を送れるためには必要じゃないかなと思います。

○石川教育長 ほかにいかがでしょうか。

(発言する者なし)

○石川教育長 よろしいですか。

それでは次に、(2)埼玉県学力・学習状況調査結果概要について説明をお願いしま

す。

○辻次長 埼玉県学力・学習状況調査結果概要についてです。

別紙の資料を御覧ください。

この学力調査は、平成27年度から埼玉県が独自に行っている調査で、項目反応理論というものをを用いて、年度ごとの問題の難易度を限りなく排除したテストとなっています。その特徴を生かして、年度ごとの比較ですとか、一人一人の伸びを見ていくことができるようになっていきます。なお、今年度のテストからタブレットでのテストの実施になりました。

では、資料に基づいて概要を説明したいと思います。

まず、1ページから4ページまでが小学校国語、算数の結果になります。小学校の国語、算数は、4年生から6年生まで、いずれも県の平均を上回った結果になっております。ただ、6年生の伸び率が、ちょっと県よりも低くなっております。

続きまして、5ページから10ページまで、国語、数学、英語の結果になります。こちらが中学校ですね。こちらは2年生の平均点が、県の平均を若干下回っておりますが、そのほかは県の平均を上回った結果となっています。しかし、伸び率はいずれの学年も全体的に県より低い結果となりました。

伸び率が低かった要因の分析というのが非常に難しいところですが、昨年度の結果と、こちらで比較してみると、県全体で全ての学年で伸ばしている割合が低くなっている結果を見ることから、タブレットでの実施というのも、1つ大きな要因なのかなというふうに捉えているところです。

続きまして、11ページ、12ページのほうを御覧ください。

こちらは児童・生徒質問紙調査の結果となります。

結果の中からは、例えば将来の夢を持っているですとか、今住んでいる県や市町村の歴史や自然に関心を持っている、また次のページになりますけれども、タブレット端末を活用した授業実施の割合が低く、大きな課題としてこちらは捉えております。

続きまして、13ページ、こちらは規律ある態度達成目標の結果です。こちらは基本的な生活習慣や学習習慣の中から、これだけは身につけさせたいというものの、こちらを調査した結果です。こちらは昨年度よりも8割以上、80%以上達成した項目数は昨年度に比べて増えました。

14ページ、15ページは、細かい質問の言葉の内容になりますので、後ほど御覧いただ

けたらと思います。

学校教育課としては、まずこの結果をしっかりと共有して、これからの各学校への指導につなげていきたいと思います。また、各学校のそれぞれの学校の結果の認識等も確認して、学校のほうでは自校の指導法ですとかカリキュラムの見直しにつなげていけたらというふうに考えております。

なお、今後、この結果については、ホームページにもアップする予定です。

学校教育課からは以上です。

○石川教育長 ありがとうございます。

それでは、御質問、御意見ございましたらお願いいたします。

○山田委員 13ページのところで、整理整頓だけが県の平均より低くなっている。これは原因は为什么呢。

○辻次長 今年に始まったことではなくて、本市の課題は、この4番の整理整頓と、それから10番の話を聞き発表をするという、この2つを課題として捉えているところです。

整理整頓につきましては、各学校のほうでは具体的に、その発達段階に応じて指導している様子はいかがなんでしょうけれども、結果としてこの数値に出てきていないところは、こちらとしても残念だなというふうに思っているところがありまして、さらに具体的なところを、今後、もう少し詰めていけたらなというふうに思っています。

○石川教育長 今の整理整頓なんですけれども、学校を訪問すると、子供たちの荷物、それなりにあって、机の脇や後ろのロッカーにしまわれているんですけれども、以前に比べると、物が床に落ちているという割合は確実に減っていると思うんですよ。子供たちは相当気をつけてやっている様子はいかがなんでしょうけれども、子供たちの意識としては、まだまだできていないというような思い、例えば机の中であるとか自宅であるとか、そういったところも含まれているのかなという感じはしています。

○山田委員 そうですね、以前は授業参観に行くと、机のまわりや床に荷物がたくさんありましたよね。今はそういうことはないですね。ただ、スペースが狭いから、置くことも難しいですね……

○石川教育長 そうなんです。

○山田委員 どうしても限られたスペースで荷物がたくさんあると整理がつかなくなると。スペースのゆったりした学校であれば、それはしやすいのかもしれない。

○石川教育長 最近、授業中にタブレットを使う機会が多くなってきていて、机の上がい

っぱいになっちゃうんですね。それで、教員のほうから、今はこれを出して、これはしまつてというような指導、指示が以前に比べてかなり多くなってきているなと思って、それに合わせて子供たちは使わないものは机の端に置く、タブレットを開く、終わったタブレットを閉じて机の端に置いて教科書を開く、そういうような動きが、子供たちの中で自然に身についてきたところから、いろんなものが落ちたりとか、授業中に物を落としたりとかいう機会は減ったのかなという感じはしています。

○山田委員 学力調査のほうは平均ということですよ。だから、上がいて下がいてということなんですが、やっぱり子供たちをいかに声かけてあげるかだと思うんですけども、いろんなことが複雑に、勉強も昔から比べれば高度になってきていると思うんです。例えばちょっと発達の遅れがあるような、軽度の発達障害のあるお子さんと言っているのか分からないんですけども、そういうお子さんは、なかなかついてこれない現状も出てきてしまうと思うんですけども、それとあと義務教育が終わって高校に進学しても、やっぱりついていけない生徒は高校をやめてしまうというケースもたくさんあると聞いているので、そこはせっかく入った学校だから継続していけるような、何か、もう卒業しちゃったからいいんだということではなくて、何かつなげてその子供たちの支援を、学校がこれをやるのか、市全体がやるのか分からないですけども、そういう支援をある程度やってあげたほうが、子供たちの将来のためになると思うんです。

学力調査ももっと細かく成果は出ているのかもしれないですけども、そういう部分をしっかり教育の中で支えてあげていってほしいなというふうに思います。

○石川教育長 ほかにいかがでしょうか。

はい、天内委員。

○天内委員 先ほどタブレットを使った影響があるのではないかというお話をいただきましたが、タブレットを使うことによって出る影響というのは、戻ってやり直すのがやりにくかったり、見直しがしにくいなど、そういう影響ですか。

○辻次長 おっしゃるとおり、その操作の部分において緊張感の中でやるテストの中で、もしかしたら力を発揮できなかったところもなくはないのかなというところで、一般的なテストの中でも、タブレット端末を使った調査の影響というのがよく言われているところなので、例えばこれがもう少し慣れてきたときに、やっぱりずっと数値が低いのか、慣れてくるとやっぱり紙ベースの紙媒体のものと同じようになっていくのかというところは、今回、まだ初年度なのでちょっと分からないんですけども、先ほど言った影響

というものの大きなところは、その操作性の部分はあるんじゃないかなというふうには考えています。

○天内委員 もう一つよろしいですか。

特に中学生なんですけれども、塾に通う子がとても多い印象がありますが、全体の子供のうち、塾に通っている割合というのはどのくらいかというのは把握されていますか。

○辻次長 正確なところは、分らないですね。質問の中で、家庭での学習の状況の項目というのはあるんですけれども、それが塾に通っているか通っていないかというふうなことでの区別はないので、こちらでは、はっきりとはつかんではないですね。

○天内委員 分かりました。先ほど山田委員からもお話がありましたように、やっぱり子供を塾に行かせられる家庭、そうじゃない家庭、それだけではありませんが塾に行けない子の方に対して、少し勉強や相談などの手当てができればいいなと思いました。

以上です。

○辻次長 教育委員会ではないんですけれども、福祉のほうでは、いわゆるそういう経済的な理由も含めてなんですけれども、その部分で学習支援が必要な子へのあすなろ教室というのがありまして、そちらに市内の子供が通っている実績は、もう、和光もかなり県内では早くから通ってしまして、一応そういうお子さんはいらっしゃいます、小・中でですね。

○山田委員 塾に通っているかどうかというのは、教育委員会では把握していないけれども、各学校、クラスの先生なんかは把握しているんですか。

○辻次長 調査を学校で、もしかしたらとっているところはあるかもしれないんですが、そこまで、何か御家庭にちょっと聞くのも難しいかなというところがあって、担任の先生が、「塾、行ってるの」と会話の中で知っているとかというのはあるかもしれないですけれども、こちらではちょっとそういうふうなことをやっているという学校は聞いていないですね。

○山田委員 聞いちゃまずいですかね、聞いた方がいろいろ支援できるような……

○牧委員 中3の進路のときに、何か行っている行っていないというのは、担任とかが聞いていました、進路指導のときに。

○石川教育長 ただいまの件、よろしいですか。

○牧委員 1点、よろしいですか。

○石川教育長 はい、どうぞ。

○**牧委員** 言っているのか、ちょっと迷うんですけども、教科書の選択というところも少し影響はありますか。というのは、国語はいつもの教科書ではなくて、出版社を変えた学年だと思うんですね。私たちが教科書を選ぶときに、これいいよね、あれいいよねと言って選んでいきますけれども、実際、それを使う先生や子どもたちが慣れ親しんできた出版社を変えることによって、教科書の雰囲気が変わってしまい、伸び率のところに影響するのかなと思ったんですけども、どうなのでしょう。

○**辻次長** 昨年度は伸び率は県とも比較しても全然悪くないんですね。昨年度、それからその前の年も。なので、例えば今年、まだ変わって何年かというところですよ。

○**牧委員** 二、三年……

○**辻次長** 今年採択をしているので、そうですね。なので、もし仮にここ数年、それがずっと続くとなると、何かそういう関係を疑いたくなるかもしれないですけども、今年が昨年、一昨年に比べて、伸び率が特に中学校のほうが少し伸びなかったなという、伸び率の割合が県より低かったなというところがありますので、必ずしもそうとも言い切れないのかなというふうには見えています。

○**牧委員** 何かそうすると、こちらが教科書を選ぶときに、何か、この素材はいいよね、いいよねだけじゃ駄目だなというのを、ちょっと思いました。

○**辻次長** 多分、大丈夫じゃないかなと思います。

○**石川教育長** 教科書の中で扱われている題材は出版社によって違うんですけども、その題材を使って何を教えるかというところは、教科書会社が変わっても変わらないんですね。なので、この教科書会社が変わることによって、子供たちの学力に影響があるということはそれほど多くはなくて、むしろ子供たちがどの教科書の題材に興味を持つかとか、これが今、子供たちに学んでほしい内容だなとか、そういう観点がやはり教科書の選考の際にあったと思うんですね。それはそれでよくて、それが学力に影響するというようなところは、その選考の際には加味する必要はないのかなと私は思います。

○**山田委員** 指導書がありますね、それによって先生の進め方が変わってくるということは……

○**石川教育長** その教科書で扱っている題材の扱いは指導書に書いてありますけれども、それを通して、子供たちが何を学ぶのかというのは、学習指導要領に書かれている内容なので、先生たちは何を教えるかのところは学習指導要領から読み取って、その教える、学ぶ内容を、この題材をどう教えていくかの流れ的なものについては指導書を参考にし

ながら授業を行っていくという形になると思います。

ほかにいかがでしょうか、今の件、よろしいですか。ほかに何かありますか。

(発言する者なし)

○石川教育長 ご覧いただいて、気になることがあれば、また次回にでも御質問いただければと思います。

それでは続きまして、（３）令和６年度和光市立小・中学校卒業証書授与式教育委員会告辞（案）について説明をお願いします。

○辻次長 令和６年度和光市立小・中学校卒業証書授与式教育委員会告辞（案）について、資料４を御覧ください。

昨年度から、この１２月のところで、たたき台というか、テーマの案を示させていただいて御協議いただいております。

本日は学校教育課担当のほうから、４つのテーマをこの後、説明させていただきます。

①です。埼玉県や和光市への関心からよいところ見つけということで、先ほど学力調査の結果のほうでも、地域への関心の項目の結果の低さに、やや課題意識が担当のほうもありまして、何事にも関心を持って、その良さを探していくというふうなことの大切さ、これは地域だけではなくて、人に対してというふうなところで、そういうお話をメッセージとして込めたらどうかというふうな案になります。自己有用感や自己肯定感のことにもつなげていけたらというふうに考えています。

続きまして②です。とにかく生きてほしいということですが、谷川俊太郎さん、数々の作品を残しているところかと思います。小学校６年生の教科書にも、「生きる」というものがあったりですとか、そういうものがあります。残念ながら、つい最近、お亡くなりになられたところでございますが、生きるというふうなテーマで、何かメッセージを伝えられたらなというふうな意味です。

続きまして、資料裏面になります。③です。失敗を恐れずチャレンジし、工夫次第で結果は変わるということで、渋谷栄一さん、こちらのほうのテーマです。

渋谷栄一も様々な歴史的なエピソードを残しているところです。今回はチャレンジ、挑戦、やる気、そういうところを少しエピソードを交えて子供たちにメッセージを伝えられたらというふうに考えています。

それから最後です。④夢中になるものを見つけ、悔いのない人生をとということで、漫画家の鳥山明さん、ドラゴンボールやＤｒ．スランプなどの作品を残した漫画家、

鳥山明さんのエピソードで、諦めずに何事も続けていくと、何かのきっかけでチャンスをつかんだりすることがあるというふうなところから、やっぱり継続して物事を続けていくなんていうふうなところにお話を持っていったらというふうなことで4つ目のテーマになります。

以上が学校教育課が今日御用意した案になります。もちろん、これ以外の、こんな方の例えばエピソードをとかというふうなことがもしありましたら、全然これに限りませんので構わないかなというふうに、こちらも思っております。今日は、お時間も限られていますので、今日ここの紹介させていただいたもので、何かいいものがあればということと、またこれ以外でというふうなお話で何か思われているものがあれば、それなんかもお出しただけたらと思います。そのあたり、もし新しい案とかありましたら、来年のお正月明けあたりまでに、何かちょっと御意見とかいただけたらと思っています。

いただいた御意見等を参考に、次の定例会ではしっかりとした文章で、決まったというか、そういうテーマの中での文章についてお示しして、最後はもう少し、ここはこうしたほうがいいというふうなお話をいただけたらと思います。

また、教育委員会の告辞なんですけれど、今年度も事前に卒業生や保護者の皆様に配布する形を取ろうかなというふうに思っております。なお、御参列につきましては、これまでどおり、またお願いしたいと思っております。

学校教育課からは以上です。

○石川教育長 今4つお示しいただいたテーマについて、今この会議の中で絞り込んだほうがいいですか。

○辻次長 もし、絞り込めそうであれば、何かこれかなみたいなものがあればいただいてもいいですし、ちょっと何かいいのがないなということであれば、また考えます。

○石川教育長 それでは、御質問、御意見がありましたらお願いいたします。

昨年度の掃除のはよかったですね。

○辻次長 昨年度は掃除と大谷翔平でしたね。

○石川教育長 どれもいいなと私は思うんですけども。

○山田委員 鳥山明さんの……

○村中委員 僕は鳥山明の作品は好きで見えていますので、子供の頃じゃないんです。いい年になってから好きになったのですが、この4番の夢中になるものを見つけ、悔いのない人生を、これはちょっと、これは人によって、できる人とできない人が絶対いるんで

すよね。だから、これをこういうふうにしなさいというと、ちょっと卒業した子が就職するときに、まだ好きなものが見つからないから、ぶらぶらしたりとか、一定の会社に勤めなくて、取りあえずで過ごしていると、いつまでたっても見つけれないということ、今、結構いっぱいそういう人がいるんですよね。

それで、この間、俳優の高倉健さん、新聞に出ていまして、何か好きなことを見つけて飛び込むんじゃなくて、飛び込んで仕事にして、それを全うして好きになるというような記事が出ていたんですが、どっちかという、そういう天才だと、また話は別なんです、普通の人というか、大体、会社に勤めていくとか、あるいは何か工場に勤めて工員になるとかという人たち、昔は金の卵と言われて、僕の子供の頃には、中学卒業して田舎から出てきた人たちがいるんですが、一生懸命頑張っていると大体成功するんですよ。成功しないまでも、そんな大きな失敗はしない。とにかく始めてみて、とにかく会社に就職をできるだけして、それでその仕事を一生懸命やっていたら、きっと好きになるんじゃないかというような趣旨のことも、もう一つ4番目の告示案に加えたいと思うんですが。

○石川教育長 それって、子供たちは意外と日常生活の中で体験しているかもしれないですよ、習い事とか、最初はそんなにやりたくなくても、行って継続しているうちに、だんだん好きになってというようなことはありますよね。

○辻次長 交ぜますか、そしたら。一所懸命と一生懸命を交ぜて、鳥山明と高倉健にするかどうか分からないですけども。何か続けて努力することの大切さみたいに。

○天内委員 すごい大きなことをやらないといけないんじゃないかと思っている子も多いかなと思っています。好きと言えることを、好きかどうか分からないけれども、何かちょっと気になるみたいところがスタートだったりもするので、先ほど村中委員がおっしゃっていたように、入ったところで好きなところを見つけるとか、そのことを好きになってみるとか、またちょっと思いを変えるだけで全然違ってくるのかなというふうに思います。

○山田委員 これはノーベル平和賞の被団協をテーマに考えたんですけども、どういうふうに展開していくのか。あれに関わってくる平和大使の高校生の皆さん。高校生が活動していて、その話の中で、私たちは微力だけど無力じゃないという言葉があるんですよね。だから、今おっしゃるように、小さなことでもやっていくと、必ず何かの力になっていく、そういう言葉もいいなと。だから、何気ないことも子供たちがこれから成長

していく上で関わっていると、とてもすごいことにつながっていくという、自分のちょっとした行動から、それが集まると大きな力が働いて、人のためになることにつながっていくという……

○石川教育長 大体このくらいでいいですか。

○辻次長 1つ今ので、去年は2つ、小・中でとかみたいな感じだったんですけども、例えば今のことで小、中つくるみたいな感じがいいか、それとも今のは中にするとか、あるいは、その辺があれば、ある程度もうこれでということであれば、こちらで……

○石川教育長 今の内容は、小学校の卒業生たちにも、中学校の卒業生たちにも、同じようにやはり聞いてほしい内容ですよ。

○辻次長 分かりました。もし、よろしければ、これで今いただいたお話をちょっとミックスして、小と中の案を考えていきますので、よろしいでしょうか。

○山田委員 先生が書くんですか。

○辻次長 いいえ、そこはちょっとまた担当と相談します。

○石川教育長 ありがとうございます。

それでは次に、（４）和光市教育委員会と保護者・地域の方・教職員等との懇談会（案）について説明をお願いします。

○辻次長 資料５のほうを御覧ください。

今年度は第三中学校区の保護者・地域の方・教職員の皆さんと実施したいと思います。形としては、コミュニティスクールで行われている熟議の形で昨年も行いましたけれども、また今年度も同じような形で行えたらなというふうに思っております。

資料の中の下のほうにテーマ、仮で「和光市の学校教育のこれからについて」ということで自由に御協議いただきましたが、また、こちらのほうで少し話題提供をさせていただいて、グループ協議をしていただけたらというふうに考えております。

もし何か、テーマや内容、実施方法等でリクエスト等があれば、お声かけいただけたらと思います。

以上です。

○石川教育長 ありがとうございます。

それでは、御意見、御質問ございますか。

（発言する者なし）

○石川教育長 よろしいですか。

このテーマを教育委員会で決めるのか、それとも参加者にとっての関心の高いものをテーマにしていくのか、その辺については何か考えはありますか。

○辻次長 そうですね、テーマのタイトルは広く取ることで、汎用性の高いものにした感じにはしていて、もし、この後、学校の様子とかから、ちょっとこういう内容で話題提供のところで、いろいろいじっていかうかなとは思ったんですけども、その辺、もし例えば学校のほうにリクエストをしてみて、こういう話をしてみたいというふうなことであれば、そういうテーマを決めちゃうというのもできるかなというふうに思います。

○石川教育長 今の段階では、テーマを広く取っておいて、グループごとの熟議の中で出し合って進めていくみたいなイメージを持っているんですか。

○辻次長 全体への資料提供で、去年もイチローの話を最初に持ってきたと思うんですけども、そこから、こういう課題だとか、学校だけじゃないのかもしれないんですけども、その辺を、それも広い形で、そこで何か、これとこれを話し合ってくださいという形ではなくて、こういうふうな現状がありましてというふうなところから、少し最初グループの中で自由にそれに対して意見をもらいながら、そこで多分、また課題、具体的なものとかが出てくるので、それに対して、もっとこうしていったほうがいいよねというふうなところになればいいかなと。グループごとに、その内容は違っていいのかなというふうに思っています。

○石川教育長 はい、分かりました。

○山田委員 第三中学校学区でやるから、そちらのほうから課題というものを出示してもらうということは。

○辻次長 聞いてみて、もし、どうしてもこれを話したいというところがあれば、それはちょっと優先的には考えていきたいと思います。

○石川教育長 ほかによろしいですか。

(発言する者なし)

◎その他（教育委員諸報告・委員質問・事務局報告など）

○石川教育長 それでは、日程第5、その他に移ります。

各教育委員より諸報告があればお願いいたします。何かございますか。

お願いします。

○村中委員 インフルエンザがものすごくはやっていて、今日もテレビを見ていたら、ど

こかのお医者さんがコメントで、病院が開いてない間は市販の薬でしのいでくれと言ったんだけど、物すごく危険なことなので、それはちょっと勘弁してくださいと思うんですが、市販の薬を飲むぐらいだったら、とにかく安静にして、お茶とかビタミンCの入った飲物をがぶがぶ飲んで、あおむけになってどんどん冷たいタオルを当てていけば何とかしのげる。命をしのげるし、悪くなることはそんなにないんですよ。

ところが、いろんな病院の先生たち、熱が出るとすぐに解熱剤を出す。皆さん、御存じのように、絶対よくないことなんで、前にも言いましたが、ウイルスというもの、元気になるのは体温が37度以下あたりなんですよね。それで、マクロファージという白血球系のウイルスを食べる細胞が元気になるのは38度なんです。ということは、熱を下げても何の意味もないわけですよ、かえって悪くなる一方なので、そこら辺のところをちょっと、もう冬休みになっちゃったから、なかなか伝えることが難しいかと思うんですが、何とか子供たちに伝えてほしいです。

○石川教育長 熱を無理されないほうがいいと、以前にもお話しいただいたかなと思うんですけども、学校のほうに情報提供できるような機会がありましたら、よろしくお願いします。

○辻次長 はい。

○石川教育長 今、薬が不足しているという話は、その辺はどうですか。

○村中委員 薬は不足してないですよ。

○石川教育長 不足してないですか。

○村中委員 僕の出す薬は。

○石川教育長 ほかにいかがでしょうか。

(発言する者なし)

○石川教育長 よろしいですか。

それでは次に、事務局からの諸報告をお願いいたします。

教育総務課からお願いします。

○福田次長 教育総務課からは、部長の報告にもありました12月定例議会で補正予算、小学校費、小学校施設整備工事請負費の第五小学校空調機更新工事を計上し可決いただきました。早速、一般競争入札に向けて準備にかかり、2月からの工事着手を目指して手続を進めてまいります。

工事概要につきましては、室外機1台の故障を機に、同時期に設置いたしましたGH

Pというガス方式の空調機の老朽化したものを更新する工事なんですけれども、室外機5台、室内機40台の機器の更新を、気温が高くなる前の完了を目指して実施してまいります。

教育総務課からは以上です。

○石川教育長 ありがとうございました。

続いて、学校教育課、お願いします。

○辻次長 学校教育課から2点です。

1点目は、2学期の終業についてです。

先ほど教育長のほうからお話がありましたが、12月24日に2学期の終業式を迎えまして、2学期の学校での教育活動が終わりました。この後、1月8日、3学期始業式、そこまでが冬休みとなります。

11月から12月にかけて、先ほど村中委員のほうからお話がありました、インフルエンザ等による学級閉鎖ですが、4校で6学級ありました。その間、教職員の罹患もありまして、学校のほう、対応していたところです。この後、3学期も心配されるところですが、改めて学校では手洗い、うがいなど、感染症対策について、こちらからも働きかけていきたいと思います。

続きまして、給食調理業務委託事業の事業者選考の結果です。

和光市立下新倉小学校の給食調理業務委託事業者の選考を、12月4日に、教育部長、企画部長、それから小・中学校長会の代表、栄養教諭、栄養士と、私もそうなんですけれども、構成される選考委員会を実施しまして、優先交渉権者候補として株式会社メフォスさん、次点交渉権者候補としてシダックス大新東ヒューマンサービス株式会社北関東支店さんに決まりました。

今後、令和7年度からの契約に向けて準備してまいります。

学校教育課からは以上です。

○石川教育長 ありがとうございました。

続いて、生涯学習課、お願いします。

○山本課長補佐 生涯学習課からは、1点、人権教育推進協議会の研修会についてです。

ピンク色の紙を御覧ください。

既に皆様にも御案内しておりますけれども、1月21日の火曜日の午後3時から、中央公民館におきまして研修会を開催します。

今回は、情報文化総合研究所代表取締役の佐藤佳弘様を講師にお迎えして、「インターネットと人権」というテーマで御講演いただきます。

佐藤様は各地で講演されておりまして、私も一度受けたことがありまして、また11月に生涯学習課担当職員も受講して、なかなかためになった話だということを話していただきましたので、皆様もお時間がございましたら、ぜひ、御参加ください。

生涯学習課からは以上になります。

○石川教育長 ありがとうございます。

スポーツ青少年課、お願いします。

○森谷課長 スポーツ青少年課からは、12月中は、先ほど教育長からも御案内があったように、スポーツ少年団のスポーツ大会やたこあげ大会、作文発表会に加え、那須烏山市とのスポーツ交流会が無事に終わりました、けが人等なく開催できましたことを御報告いたします。

また、1月22日水曜日には、年明け、和光市青少年育成推進委員会の講習会として、危機管理監を講師としてお招きしまして、「和光市の防災対策について」ということで御講義をいただくことを予定しています。豪雨対策についての家庭でできることなどを、実践的なものを踏まえて推進委員さん、各学校からも推薦で来ていただいている方々に向けて御講義をいただきますので、講習会ということで皆さんに学んでいただければということで考えています。

以上です。

○石川教育長 ありがとうございます。

今、4課から説明がありましたけれども、何か御質問、御意見ございますか。

○山田委員 人権教育の佐藤先生は、3年ほど前に……

○山本課長補佐 はい。子供の人権でやっていましたね。

○山田委員 非常に分かりやすく内容が良かったですね。

○石川教育長 ほかありますか。

よろしいでしょうか。

(発言する者なし)

○石川教育長 それでは、次回の日程について、教育総務課からお願いします。

○福田次長 令和7年第1回定例教育委員会は、1月23日木曜日午後1時30分から、令和6年度和光市教育委員会表彰を行った後、603会議室で行います。

○石川教育長 ありがとうございました。

それでは、これをもちまして第12回教育委員会定例会を閉会いたします。

ありがとうございました。

閉会 午後 2時31分

第 1 2 回定例会会議録署名者

教 育 長

会議録署名委員